

那須塩原のユーディーホーム

古民家部門賞を受賞

築88年の家屋を再生

住宅設計などのユーディーホーム(那須塩原市鍋掛、鈴木健規社長)は23日まで、第4回再築大賞(一般社団法人住まい教育推進協会主催)で最優秀に次ぐ古民家再築部門賞を受賞した。

再築大賞は、再利用できる資材を活用し、人や環境に配慮した住宅を造る企業の技術を多くの人に知ってもらうのが狙い。今回は古



「元の良さを生かした」と話す鈴木社長＝さくら市氏家

募があり、再築大賞と各部門賞が決められた。

同社は「元の良さを生かしつつ、あまり手を加えない」をテーマに、さくら市氏家の築88年の木造平屋建て古民家をリノベーションした。梁や柱はそのままに

し、壊れた建具も可能な限り修復。新しくした部分にはスギやヒノキ、大谷石など県産の材料を多用した。

同協会は「物語性や建築当時への回帰性、設計力、遊び心が総合的に評価された」などと説明している。

鈴木社長は「多くの人に古民家を大事にする気持ちを持ってもらえれば。賞が取りたかったのうれし」と話している。

(太田啓介)